



鳥 議 第 3 4 8 号
令和 2 年 10 月 2 日

鳥羽市長 中 村 欣一郎 様

鳥羽市議会議長 木 下 順



予算決算常任委員長 浜 口 一 利

予算決算常任委員会（9月会議）の議員討議における提言書

去る9月会議において、令和元年度鳥羽市一般会計及び各特別会計並びに企業会計の決算審査を行いました。

昨年に引き続き課ごとに決算成果説明書を基本に審査するとともに、これまでと同様に、決算審査後に議員間討議を実施し、各委員からの提案、意見は20項目ありました。

この20項目の意見等については、予算決算常任委員長報告において述べたところですが、特に各課の取り組みについては、高く評価できるものが多くあり、今後においても市長等をはじめ、職員の更なる努力に期待するところでもあります。

そこで、様々な分野における意見等の中から、今後の更なる進展を願い、市議会として下記の2点について提言いたします。

記

1. 新型コロナウイルス感染症の影響により、変わりつつある社会生活のあり方を踏まえ、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、世代や分野を超えつながることで、明るく豊かな地域をともに創りあげていく鳥羽市独自の地域共生社会の実現が必要である。
そこで、まちトークなどによる地域課題の把握、各課の意識共有を行いながら、課題解決のために全庁あげて具体的な事業展開に努められたい。
2. GIGA スクール構想による小中学生の児童生徒に1人1台PC整備と学校に高速大容量の通信ネットワークを整備し、子どもたちの創造性を育む教育など、昨今の教育環境は目まぐるしいスピードで変革がなされている。
今後は、ICTの教育環境のみならず、あらゆる変化を見据え、「鳥羽市で子育てできて良かった」「誰もが鳥羽市で子どもを育てたい」と思われるような教育環境の充実・拡充をされたい。